

グループホーム きくまの家
運営推進会議

令和7年度 第5回
2026年1月31日

グループホームきくまの家 基本理念

- ①ひとりひとりの生活の【気持ち】と【動き】を専門職として気付き、
有する能力を最大限に活かすことができる環境づくりや調整を行い
“できること”の継続を実践します。

- ②買い物、お祭り、清掃活動などで【地域とのかかわり】を持ち続け
1人の住民として、地元へ貢献していくことを支えます。

- ③入居した後の、家族や友人との関係を続けられるように支援します。

【入居状況】		令和 8 年	1 月	31 日	土曜日	
入居者数	1階	(7 名)	男性	(1 名)	女性	(6 名)
	2階	(9 名)	男性	(2 名)	女性	(7 名)
介護度	要介護 1	(2 名)	要介護 2	(7 名)	要介護 3	(6 名)
	要介護 4	(0 名)	要介護 5	(1 名)	要支援 2	(0 名)
平均介護度		全体 2.5	1 階 2	2 階	2.9	
認知症高齢者の 日常生活自立度	I	(0 名)	IV	(1 名)	M	(0 名)
	II	(0 名)	IIa	(1 名)	IIb	(4 名)
	III	(0 名)	IIIa	(10 名)	IIIb	(1 名)
全員	平均	(85.9 歳)	最年少	(76 歳)	最年長	(96 歳)
年齢 女性	平均	(85.5 歳)	最年少	(76 歳)	最年長	(94 歳)
男性	平均	(88.0 歳)	最年少	(80 歳)	最年長	(96 歳)
<ul style="list-style-type: none"> ・在籍日数 最長2113日 最短146日 平均1087日 ・R7年12月の稼働率92.1% R8年1月の稼働率90.6% (1/10にホスピスに転居 1名) ・1月中に2名の入居が決まり、2月の入居に向けて準備中 (現在の待機者数 5名) 						
R2年4月～R8年1月までの入居者数				R2年4月～R8年1月までの退居者数		
・自宅から	19 名			・ホームでお看取り	5 名	
・高齢者施設から	11 名	合計		・入院先でご逝去	4 名	合計
・医療機関から	2 名	32名		・高齢者施設へ	5 名	16名
				・医療機関へ	2 名	

【職員状況】

令和 8 年 1 月 31 日 土曜日

- ・ 介護職員22名 常勤換算16.4人
- ・ 開設から～R8年1月31日までの
・ 入職 55 名
・ 退職 33 名 (派遣1名含む)
- ・ R7年4月1日～R8年3月29日までの
・ 入職 4 名
・ 退職 4 名
- ・ 現在の職員数 22 名 (正看護師1名退職となり、マウントバード本部の看護師水曜日に訪問となっています)
- ・ 介護福祉士 10 名 実務者研修終了 3 名 初任者研修終了 6 名
- ・ 基礎研修終了 3 名 技能実習生 1 名 無資格 1 名

【季節行事等】

12/1 ~ 1/31

- ・ 12/22 2025年を振り返る会
- ・ 1/1 初詣
- ・ 1/11 鏡開き



きくまの家の日常

忘年会

1 階



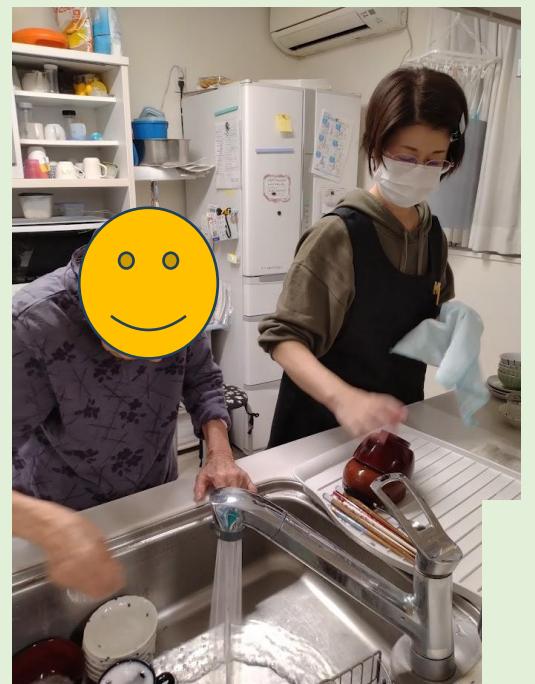
1 階





1 階

鏡開き

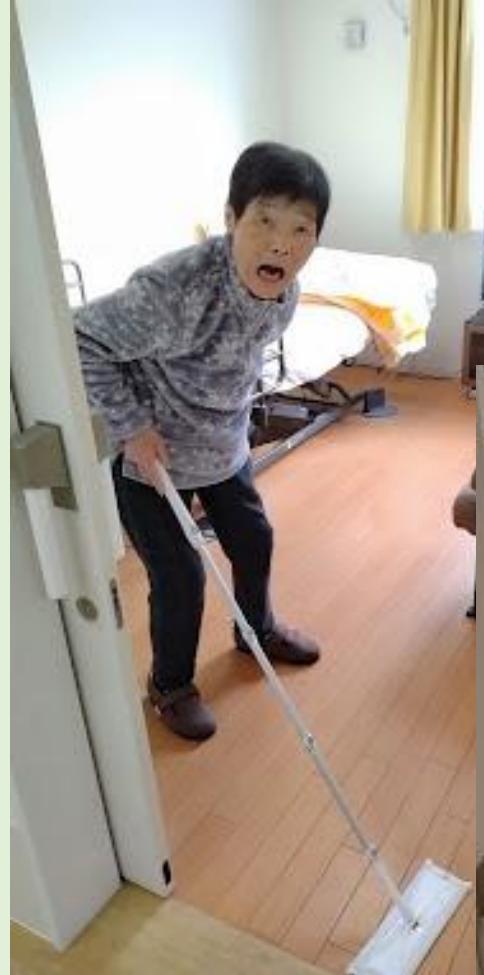


1階

自分の
部屋は

自分で

1 階



掃除



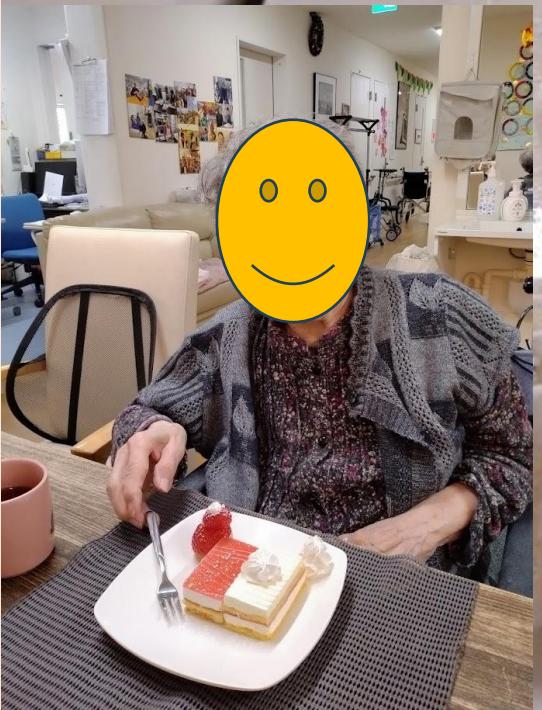


1 階



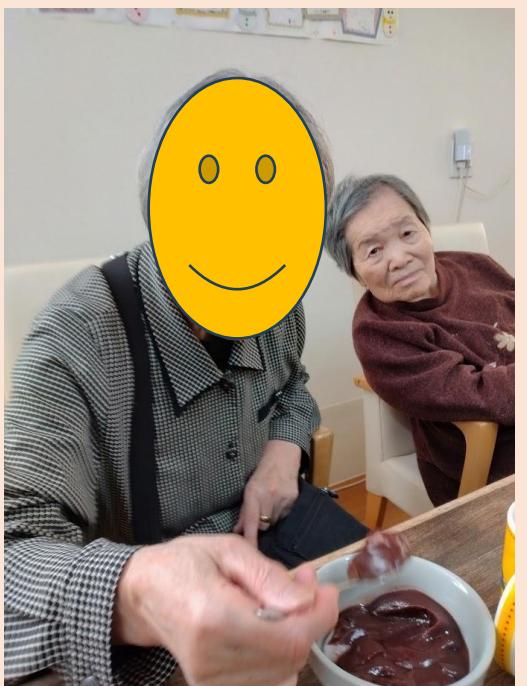


1 階



2階

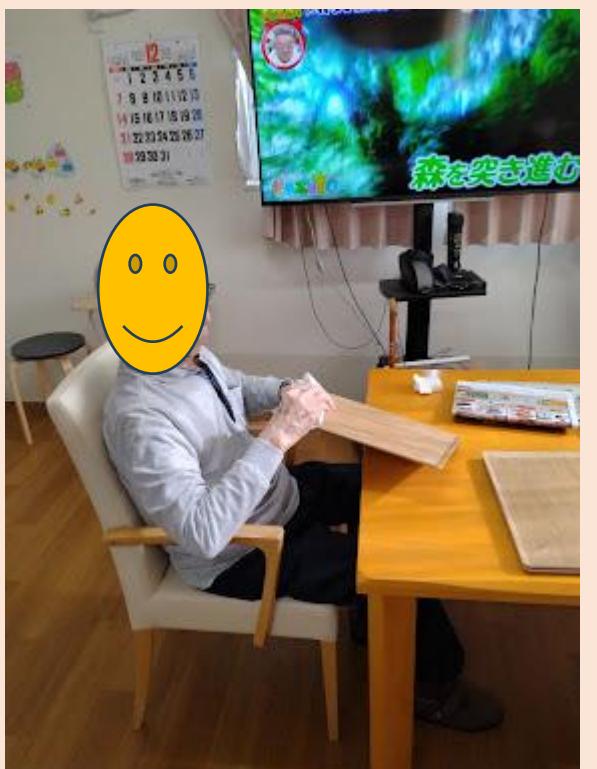
忘年会



2階

鏡開き





2階



2階



【虐待防止委員会より】

【メインテーマ】

1月～4月…「入居者様のできることを一つでも多く引き出す」※自立を支える

【サブテーマ】

- ・事業所単位で目標設定を行う。

【生産性向上委員会より】

【メインテーマ】

- ・情報共有コミュニケーションの課題に対して、3か月間で取組を行う。

- ★今行っている内容に磨きをかける。

- ★他のホームの取り組みを参考にする。

- ★職員がいつでも、なんでも言うことができ、全職員で共有ができる、
フィードバックが得られる内容。

①

12/31

7:40

床に薬

内容

朝食後薬をクリアカップに入れて口の中に入ったのは見届けたが水を飲み込む時にむせ込み、

水がダラダラと衣服に垂れた。恐らくその時に落薬したと思われる。

薬を確認すると少し溶けていたが文字や色で朝食後にしか処方されていない薬と確認できたため、

その薬を服薬してもらった。(モンテルカスト錠10mg)

背景

・居室で落薬が数件続いた方。

・口腔内の不快感が強く、睡眠にも影響が出ていたため、医師と薬剤師にも相談しながら服薬コントロールを行っていた。

・夕食後と睡前薬の調整で夜間は眠れるようになり、口腔内の不快感を話すことも少なくなっていた。

・日中、車椅子に座っている際に傾きが強くなってきていた。

・食事量の低下と薬を飲み込む力が弱くなってきていた。

対策

①朝食後薬を飲み込む際、飲み込みにくい様子が増えていることから、朝食後薬を昼食後以降に変更できないか、

1/7の訪問診療で相談する

→錠剤は粉碎し、朝食後薬は夕食後に変更となった。

②就前薬のリスペリドンの調整を1/7の訪問診療で相談する。

→リスペリドンを中止し経過をみるとなった。

→痛みの訴えで周囲の入居者への影響があり、1/19の臨時往診で、リスペリドン1mgを再開

【現在の業務の取り組みなど】

2025年度の自己評価作成済み（提出はまだ）

3月防災訓練

次回の運営推進会議は3/26(木) 14:00



今後も理念に基づいた運営を行います